

資料編

1. 策定の経緯

策定の経緯		主な内容
平成 22 年 10 月 ～平成 23 年 3 月	基礎調査	作業方針検討 現地踏査 既存資料の収集・整理 生物現地調査 景観調査 住民アンケート（平成 23 年 1 月 7 日～1 月 31 日）
平成 23 年 2 月 9 日	第 1 回策定委員会	計画の概要及び調査結果等 ・農村環境計画の概要について ・実施計画について ・現況調査（速報）について
平成 23 年 9 月～10 月	座談会	大原小学校区（平成 23 年 9 月 22 日） 東野小学校地区（平成 23 年 9 月 26 日） 小郡小学校地区（平成 23 年 9 月 30 日） 三国中学校地区（平成 23 年 10 月 19 日） 立石小学校地区（平成 23 年 10 月 24 日） 御原小学校地区（平成 23 年 10 月 26 日） 味坂小学校地区（平成 23 年 10 月 27 日）
平成 23 年 12 月 16 日	第 2 回策定委員会	現況特性、住民意向、課題について 計画骨子案について
平成 24 年 1 月 25 日	第 3 回策定委員会	小郡市農村環境計画（素案）について
平成 24 年 2 月 27 日	第 4 回策定委員会	小郡市農村環境計画について

2. 小郡市農村環境計画策定委員会

2-1. 小郡市農村環境計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 小郡市における農業農村整備事業の実施にあたり、地域・地区ごとの実状を詳細に網羅した、計画性の高い事業展開の基本方針となる小郡市農村環境計画(以下「環境計画」という。)を策定することを目的として、小郡市農村環境計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 環境計画の策定に必要な調査及び検討
- (2) 環境計画の策定
- (3) その他農業農村整備事業の計画的な実施に関して必要な事項

(組織)

第3条 策定委員会の委員は、20人以内で組織し、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 住民代表者
- (3) 行政関係者

(任期)

第4条 委員の任期は、前条の委嘱をした日から平成24年3月31日までとする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(策定委員会の運営)

第5条 策定委員会に委員長及び事務局を置く。委員長は小郡市副市長がその任にあたる。

- 2 委員長は会務を総理し、策定委員会を代表する。
- 3 策定委員会は、委員長が招集し、会議の議長を務める。
- 4 策定委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 5 委員長は、必要があると認めたときは委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- 6 策定委員会の事務局は、環境経済部農業振興課に置く。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年2月1日から施行する。

2-2.委員名簿

平成22年度小郡市農村環境計画 計画策定委員 名簿

(委員)

	役 職	氏 名	備考
1	九州大学名誉教授	中野 芳輔	学識者(農村環境整備)
2	九州大学大学院農学研究院准教授	薛 孝夫	学識者(緑地計画・景観管理)
3	小郡市副市長	兵頭 正俊	委員長 小郡市
4	小郡市環境経済部長	清水 啓介	小郡市
5	小郡市企画課長	市原 重夫	小郡市
6	小郡市生活環境課長	一木 茂治	小郡市
7	小郡市都市計画課長	福田 正昭	小郡市
8	小郡市文化財課長	田籠 千代太	小郡市
9	小郡市農業委員会事務局長	天本 正幸	小郡市
10	小郡校区代表代行	高尾 豊	地区代表
11	大原校区代表	岡本 政隆	地区代表
12	東野校区代表	久家 弥	地区代表
13	三国中校区代表	大淵 泰範	地区代表
14	立石校区代表	柳 義親	地区代表
15	御原校区代表	西山 則博	地区代表
16	味坂校区代表	河原 正治	地区代表

(オブザーバー)

1	朝倉農林事務所 農村整備第一課長	山邊 義修	
2	朝倉農林事務所 農村整備第一課 計画係長	錢花 祐司	

(事務局)

1	小郡市農業振興課長	花田 敏幸	小郡市
2	小郡市農業振興課農村環境係長	荒巻 寿敏	小郡市
3	小郡市農業振興課 農政係長	橋本 昭泰	小郡市
4	小郡市農業振興課農村環境係	高田 邦治	小郡市

(コンサルタント)

1	(財)九州環境管理協会	柳澤 孝裕	
2	(財)九州環境管理協会	林田 創	
3	(財)九州環境管理協会	高崎 剛広	

平成23年度小郡市農村環境計画 計画策定委員 名簿

(委員)

	役 職	氏 名	備考
1	九州大学名誉教授	中野 芳輔	学識者(農村環境整備)
2	九州大学大学院農学研究院准教授	薛 孝夫	学識者(緑地計画・景観管理)
3	小郡市副市長	高木 良郎	委員長 小郡市
4	小郡市環境経済部長	清水 啓介	小郡市
5	小郡市企画課長	速水 信也	小郡市
6	小郡市生活環境課長	一木 茂治	小郡市
7	小郡市都市計画課長	有隅 功明	小郡市
8	小郡市文化財課長	片岡 宏二	小郡市
9	小郡市農業委員会事務局長	店田 正美	小郡市
10	小郡校区代表	高尾 豊	地区代表
11	大原校区代表	緒方 貞興	地区代表
12	東野校区代表	久家 弥	地区代表
13	三国中校区代表	大淵 泰範	地区代表
14	立石校区代表	柳 義親	地区代表
15	御原校区代表	西山 則博	地区代表
16	味坂校区代表	金子 圭一	地区代表

(オブザーバー)

1	朝倉農林事務所 農村整備第一課長	山邊 義修	
2	朝倉農林事務所 農村整備第一課 計画係長	馬場 秀昭	

(事務局)

1	小郡市農業振興課長	佐藤 秀行	小郡市
2	小郡市農業振興課農村環境係長	藤 政志	小郡市
3	小郡市農業振興課 農政係長	橋本 昭泰	小郡市
4	小郡市農業振興課農村環境係	成富 壽明	小郡市

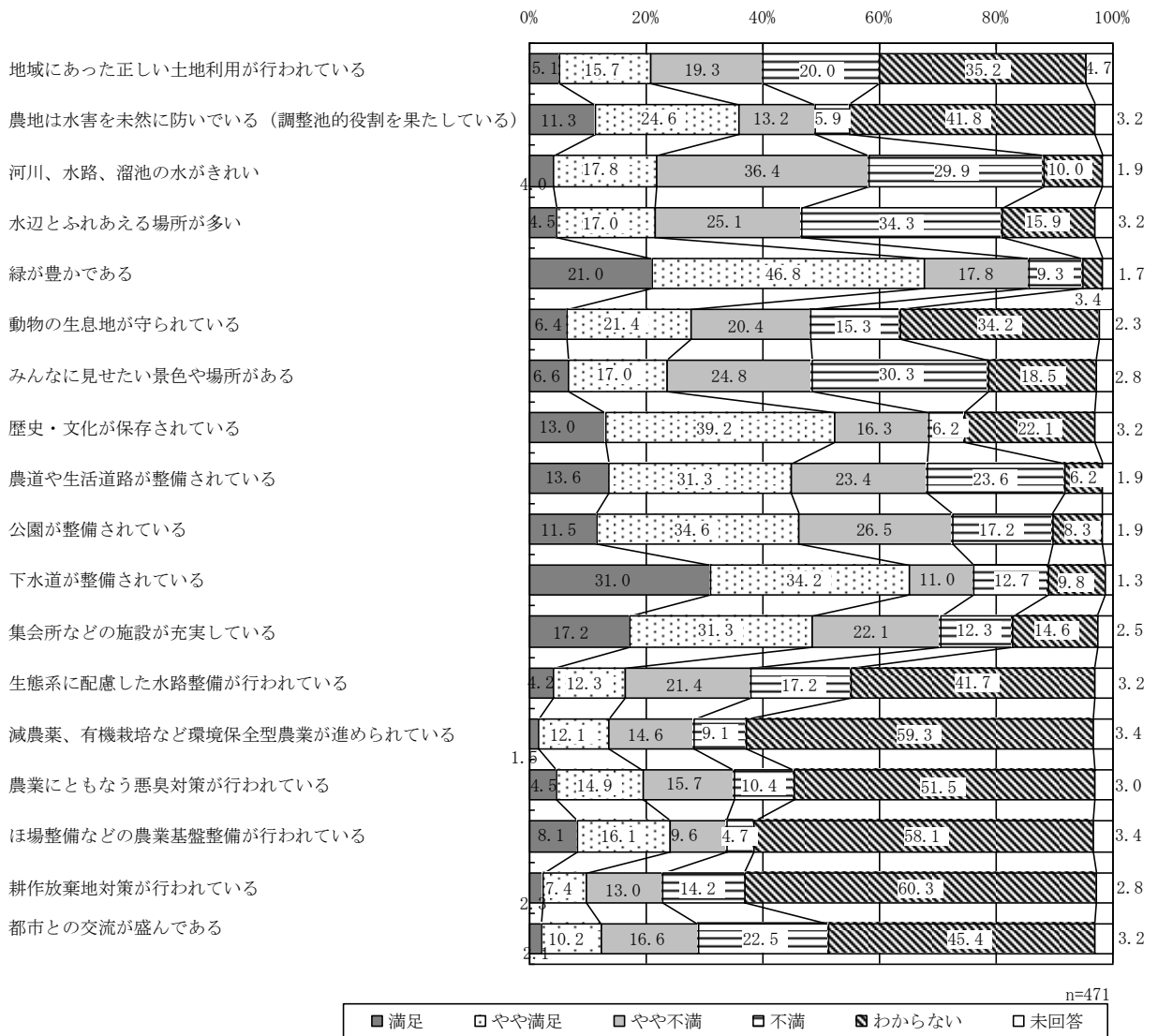
(コンサルタント)

1	(財)九州環境管理協会	柳澤 孝裕	
2	(財)九州環境管理協会	林田 創	
3	(財)九州環境管理協会	高崎 剛広	

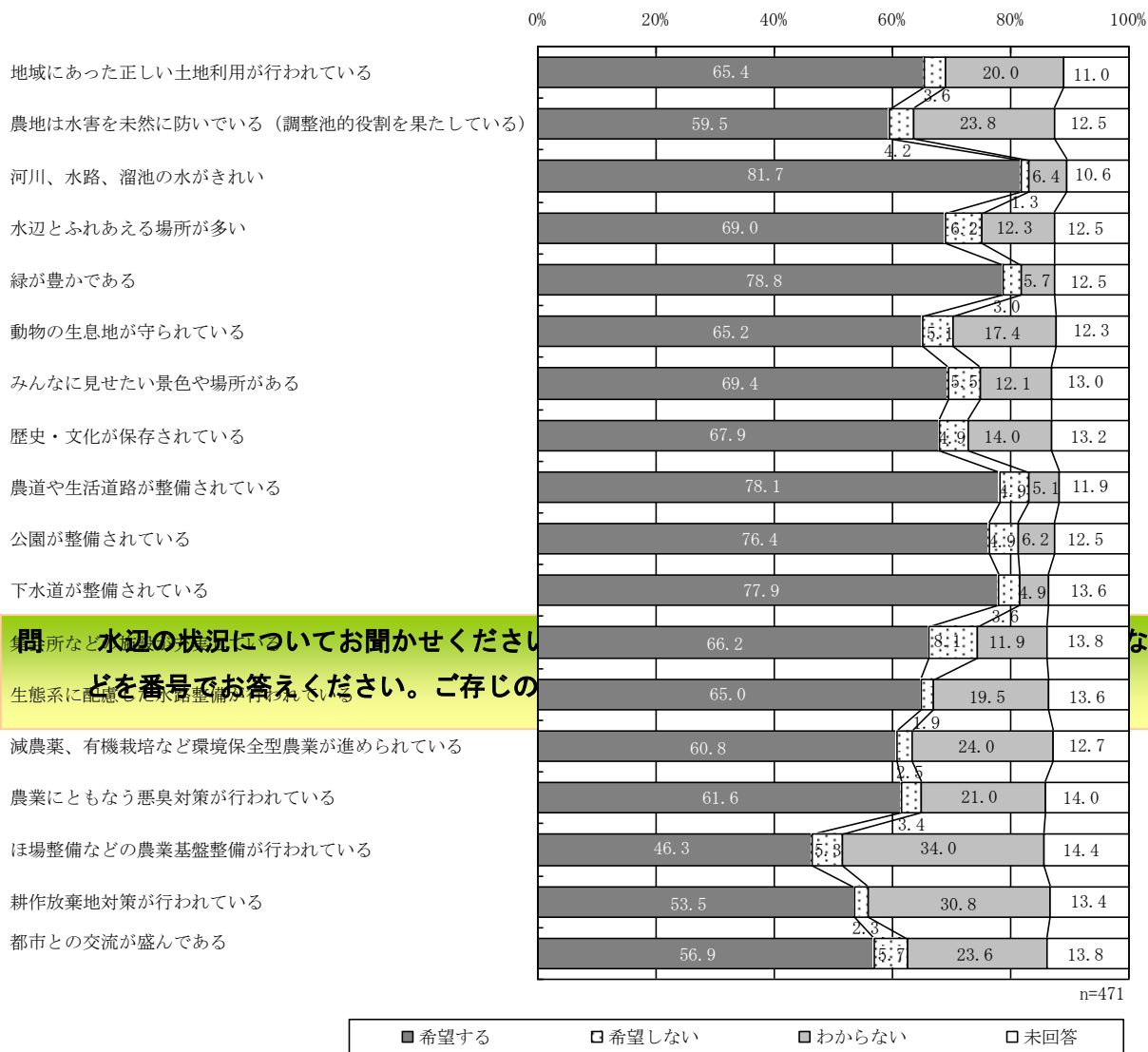
3. アンケート調査結果の詳細

問 あなたの地域（日常生活の範囲）の「現在の姿」と「将来のあるべき姿」についてどう思われますか。各設問について、該当する欄に○をつけてください（現在と将来それぞれ1つずつ）。

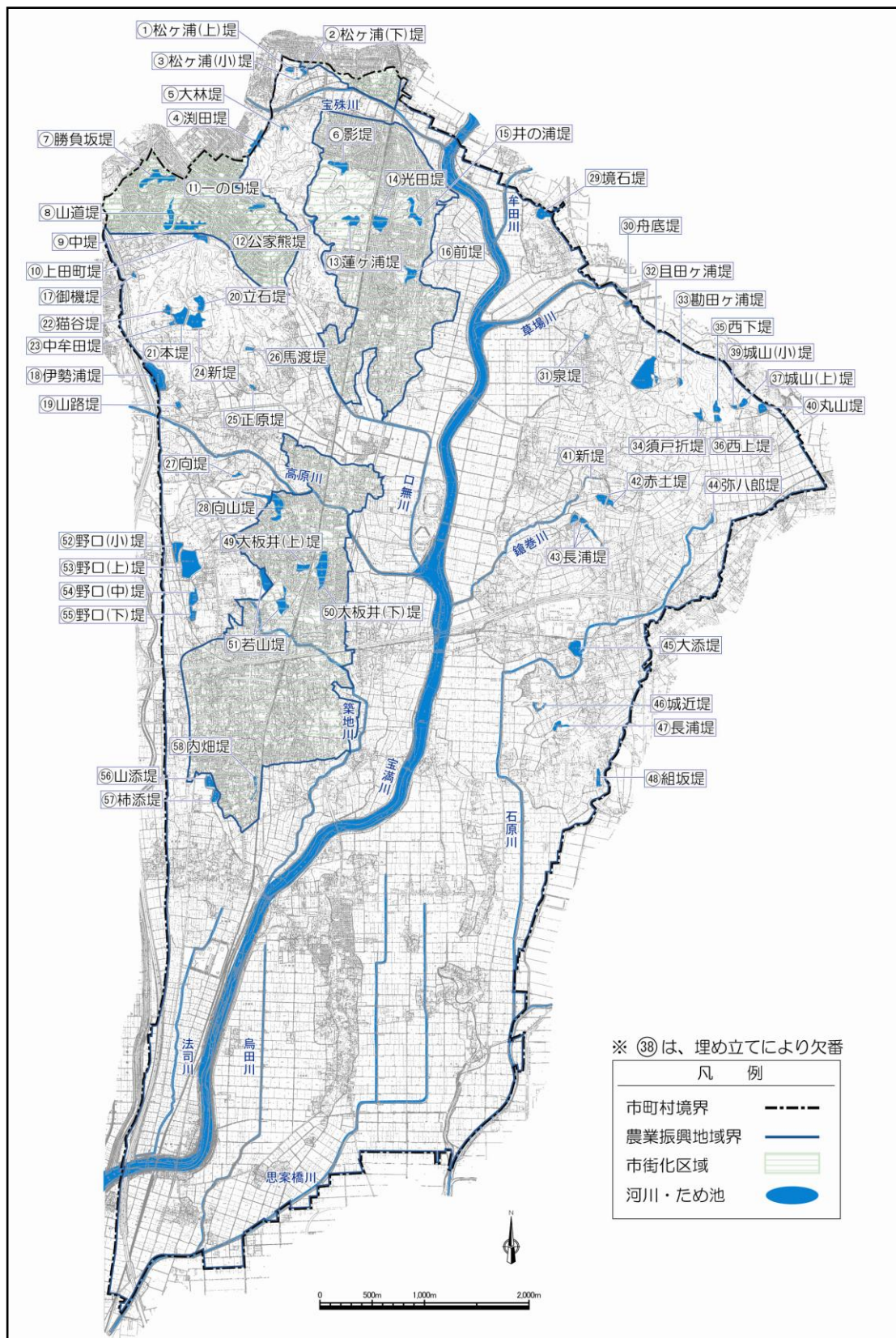
【現在の姿】



【将来の姿】



【ため池の位置番号】



◆堤防などの老朽化が進み災害の危険がある

地図番号	理由
1	生活排水が入っている。
3	完全とは言えないが今のところ危険性はない。
4	完全とは言えないが今のところ危険性はない。 年に何度かの大雨時に、堤防の決壊の恐れがある。本年度より改修の計画予定。
5	老朽化している。 完全とは言えないが今のところ危険性はない。
6	完全とは言えないが今のところ危険性はない。 道路淵が貯水池側へ落ち込み傾いている箇所があり、以前のように池の近くまで寄ってカイツブリを採せない。 水漏れ。
25	生活排水。
28	危険はある。
32	早急に整備が必要。
33	早急に整備が必要。
47	藪の中にある。
51	フェンスの金網が老朽化、車が衝突して池に落ちる可能性。
58	少しの雨で線路際の道路まで冠水する。 降雨時、道路が水に浸っている。 大雨の時、道路に水があふれる。
築地川～宝満川	梅雨時に冠水している事が多い。
築地川	よどんでいる。夏は特に夏草（水草）が茂っている。特に警察の横がよどんでいる。
小郡地区	雨が降るたびに道路まですぐ水が流れ出て不安になる。

◆水に落ちる危険性がある

地図番号	理由
1	生活排水が入っている。 松ヶ浦堤のせんの所が足がすべる。
2	松ヶ浦堤のせんの所が足がすべる。
3	松ヶ浦堤のせんの所が足がすべる。
4	淵田堤、影堤は特別の柵が無いので、子供が入ると危険箇所。
6	柵がない。 淵田堤、影堤は特別の柵が無いので、子供が入ると危険箇所。
7	以前柵がない場所があった。 車が通るから狭くて路肩がくずれる可能性大。
11	散歩コースもあるが、人目にふれず暗く水に近いので、小さな子には危険。夕方もこわい感じ。 池の周りの柵が自由に越えられる。
14	ガードレールがなく、落ちてもつかまる所がない。台風の時とか、洪水で流されたら終わりだ。 池の周りに一部竹山があるが、柵がない。
28	柵がない。
29	ガードレールのみ。
32	早急に整備が必要。
33	早急に整備が必要。
47	柵がない。藪の中にある。
51	金網の老朽化。
53	横を通る道が狭く非常に危険。
54	ガードレールが付いてない。
55	西側堤防上の雑木がじゃま。
56	ガードレールが付いてない。
58	フェンスの老朽化。
立石地区	護岸工事がコンクリートで立ち上がっているの、落ちたら上がれない。
口無川	実際に子供が落ちて死亡する事故がおきている。

◆嫌なにおいがする

地図番号	理由
1	生活排水が入っている。
7	水を落としたとき。
11	浮遊物あり。
16	収穫後の田んぼ、畑に肥料が入れられた時か、浄化センターの関係か分かりませんが、窓を開けられない時がある。 津古浄化槽の排水。
28	多少臭いがする。
32	早急に整備が必要。
33	早急に整備が必要。
45	もっと木を植えよ。なぜ狭くして工場を建てたのか。
47	生活排水。放置している（管理不十分）。
49	くさい。
50	宝満川。 臭いがくさい（とくに夏）。
51	管理者が積極的に取り組むべき。 いつもではないが、たまに嫌な臭いがする。 用水地としては不的確で、公園か公共施設にする。防衛省との関連で現状管理する。 雑草（水草）が多い。 生臭い臭いがする上、コイの死がいを見かける。 水草の処理なし。 水落とし後の浮き草の処理が必要。 夏場ホテイアオイが繁殖し、いやな臭いがする。 平成22年末に水草が除去されたので、ある程度よくなったと思う。 去年ホテイアオイが枯れてくさっていたが、工事で改善されたい。 管理者が積極的に取り組むべき。
52	時々流れがゴミで詰まっている。
53	時々流れがゴミで詰まっている。 夏場、雨量が少ないと水位が下がり、魚の死臭が強い。 水草の処理なし。
54	時々流れがゴミで詰まっている。 ホテイアオイが全面に浮いている。 夏場、雨量が少ないと水位が下がり、魚の死臭が強い。 水草が池いっぱいに生息し、水利組合は一回も取っていないので、冬になると枯れて嫌なにおいがする。
55	時々流れがゴミで詰まっている。 ホテイアオイが全面に浮いている。 夏場、雨量が少ないと水位が下がり、魚の死臭が強い。 水草が池いっぱいに生息し、水利組合は一回も取っていないので、冬になると枯れて嫌なにおいがする。
58	ラーメン店の汚水。
築地川	所々で、水草と土で水の流れが悪い。
大原地区	池の水。
小郡地区	500号線（西鉄踏切～市役所間）北側側溝より臭い大。特に6～8月迄。
北浦公園	大雨が降った時下から臭いが出る。ヘドロみたいなものが上がってくる。

◆ごみが捨てられている

地図番号	理由
1	生活排水が入っている。
6	西北方向の足場材料置き場周辺。文化財センター西側。 葉などが落ちて（一面に）水面が見えない。
7	ペットボトル、食品トレイあり。 岸辺にたまっている。
8	ゴミがたくさん浮いている（水が少ない時）。
10	空き缶、ペットボトルが浮いている。
11	汚い。
15	道路側に少し。 ごみが浮いている。 ペットボトルが数多く見られる。 通行人が捨てたのでは？
32	早急に整備が必要。
33	早急に整備が必要。
48	上流からゴミ等が流れこみ、堤にたまっている。
50	川にゴミが散乱しているのが見られる。 小河川。 見るに耐えない。
51	管理者が積極的に取り組むべき。 池の周囲にゴミが散乱。 ごみが浮いている。 管理者が積極的に取り組むべき。
52	ペットボトル、カップめんの容器等が目立つ。
53	ペットボトル、カップめんの容器等が目立つ。 流れ込む川からのゴミもあるようだ。 ゴミが散乱していたり、時々コイの死がいも見かけた。
54	ペットボトル、カップめんの容器等が目立つ。
55	ペットボトル、カップめんの容器等が目立つ。 捨てられていない。
希みが丘6丁目調整池	ゴミやボール等よく浮いている。たまに乗り越えて入られている人がいる。
宝珠川	不法投棄が時々見られる。
稲吉	用水路に落ちている。
宝満川	堤防の竹や木が生い茂っているところに、ゴミが投げ捨ててある。
築地川	ゴミが浮いている。
のぞみが丘地区	林道脇にゴミが散乱。
小郡地区	泡が池に浮いている。 オーバーフローする穴の周りに大小のゴミが浮いている。 甘木鉄道小郡駅土手。ポイ捨て表示（禁止）はあります。 近くの水路。
三国地区	靴や生活ゴミが浮いている。とても不気味な感じがする。 あちこちで捨てられている。
御原地区	ごみが流れてきている。
立石地区	川沿いに捨てられている。特に広い場所。

◆水が汚れている

地図番号	理由
1	生活排水が入っている。
4	上流の団地より。
6	葉などが落ちて（一面に）水面が見えない。
7	岸辺に泡が浮いている。 決してきれいとは言えない。
8	油が浮いている（水が少ない時）。
11	岸辺に泡が浮いている。
14	汚い。
15	道路側に少し。
25	水が濁っている。 生活排水。
28	緑色になっている。 汚れている。
29	汚れている。
32	下水道の整備が必要。
33	下水道の整備が必要。
44	汚れている。
47	管理不十分。
48	ヘドロ等が堆積し、梅雨時には水害の恐れ有り。
49	水草（ホテイアオイ）がぎっしり浮いていて水面も見えないし、枯れてくるととても見苦しいです。 川幅一面に丈なす草が繁盛している。不潔、見苦しい、水流がスムーズにいかないのでは（警察署の横の川）。 池内に大量の草が生えている。 水がかなり汚れてゴミなどが浮いている。 水の色が緑色をして気持ち悪かった。 藻が繁殖している。
50	宝満川。 水が濁っている。 水がかなり汚れてゴミなどが浮いている。 小郡の恥、ドブ川。
51	水草（ホテイアオイ）がぎっしり浮いていて水面も見えないし、枯れてくるととても見苦しいです。 管理者が積極的に取り組むべき。 水がかなり汚れてゴミなどが浮いている。 水草の処理なし。 水草が茂り、夏場に臭いがする。 ホテイアオイの繁殖により水が汚れている。 泡が浮いている。 水草が多い。 夏に水が貯まらずよどんでいた。 管理者が積極的に取り組むべき。
52	53番との関連で環境整備のため遊歩道にする。 水の出入りナシ。 生活排水が入っている。
53	緑に濁っている。 生活排水が入っている。
54	水草（ホテイアオイ）がぎっしり浮いていて水面も見えないし、枯れてくるととても見苦しいです。 水草の発生で水が汚い。 生活排水が入っている。
55	汚れていない。 生活排水が入っている。
56	水草の発生で水が汚い。
58	水草（ホテイアオイ）がぎっしり浮いていて水面も見えないし、枯れてくるととても見苦しいです。 ラーメン店の汚水。
小郡警察の横の川	何とかして欲しい。
築地川	砂やヘドロも見られる。
三国地区	年々汚れてきている。人口が多くなり、生活排水が多くなった為。 雨が降った時は、特に水の汚れが目立つ。
御原地区	靴や生活ゴミが浮いている。とても不気味な感じがする。 生活水が入っている。

◆公園として整備してほしい

地図番号	理由
1	生活排水が入っている。
4	内畑古墳（津古）。 弁財天、洲田堤界隈は、今後遊歩道の整備を望む。 埋蔵文化財センター。
5	埋蔵文化財センター。
6	埋蔵文化財センター。
8	車を止めるスペースがあればよいと思う。
11	公園としては良い公園です。 大きい公園だからもっと活用できそう。
14	整備されて大変美しい。
15	見通しが良くない（防犯上）。
28	公園にすると良い。
29	当区には公園がない。
32	公衆トイレ、臭気、要掃除。 早急な整備が必要。
33	早急な整備が必要。
51	農業に必要なければ。
53	菜園場と用水地との道路整備に、外回りを遊歩道として公園化する。
54	菜園場と用水地との道路整備に、外回りを遊歩道として公園化する。 西側が市民農園でもあるので、花の咲く木等植えると良い。
55	菜園場と用水地との道路整備に、外回りを遊歩道として公園化する。
三国が丘駅前公園	入りづらい。暗くこわい。
弁財天	整備してほしい。
宝満川	七夕大橋近辺。 堤防の下の草や大きい木を、きちんと並べて植えてない。
大原地区	遺跡公園となっているがトイレ等なく不便。
立石地区	十分。
三国地区	県の歴史博物館周辺を公園化してほしい。

◆緑が豊かである

地図番号	理由
1	豊かである。
2	津古団地入り口から東にすばらしい山があります。
4	自然林が豊かであるが、一部松林の枯れが目立つ。 津古の森、照葉樹林、九州歴史資料館と一体化。
5	自然林が豊かであるが、一部松林の枯れが目立つ。 津古の森、照葉樹林、九州歴史資料館と一体化。
6	津古の森、照葉樹林、九州歴史資料館と一体化。 堤の周囲を囲む木々。隣接する土地の木々。
7	かし、もみじ、つばき、どんぐり等。 雑木林。
11	かし、もみじ、つばき、どんぐり等。 雑木林。 緑が多く良い。
14	よくわからない。
15	カシ。
32	早急な整備が必要。
33	早急な整備が必要。
51	周辺に樹木があり、秋はハゼの紅葉がきれい。 オオカヤツリ草が残ってて良かった。
55	水草
宝珠川	桜の木が一部植えられている。
宝満川	雑草も多い。
のぞみが丘地区	カシ、シイ等の照葉樹林、山野草の自然と山田が残り、里山がきれい。
立石地区	クス、スギ、シイの木、ヤナギ。

◆野鳥などの動物が多い

地図番号	理由
1	鳥多し。
6	5種類くらいの鳥を見かける。 ウグイス、シラサギ、いろいろ他にもあり（灰色のサギ）。 カモ。 カモ、サギ。 カモ、他。 カラス。 シロサギ、カモ等の渡り鳥。
7	ウグイス、カワセミ、カモ、ヒヨドリ。 キジ。
8	カワセミ、カモ。
9	カワセミ、カモ。
10	カワセミ。 コウモリ。
11	ウグイス、カワセミ、カモ、ヒヨドリ。 鳥が居て良い。
14	カラス、カチガラス、シラサギ、ウグイス、メジロ、ハト、ヒヨドリ、スズメ。
15	カモ、サギ。
32	早急な整備が必要。
33	早急な整備が必要。
47	周囲が森。
51	カモ、サギ。 周囲の樹木のため小鳥が多い。 カワセミがいたのに今はいない。カモ、シロサギがきている。
55	サギ。
築地川	白サギが多い。
宝珠川	小魚がいらないのか、セキレイを見かけない。
宝満川	白サギが多い。
マルキョウの裏の池	カモが数十匹泳いでいる。
みくにの団地	メジロ、セキレイ。
美鈴が丘周辺	キジ（最近は見かけなくなった）。
大原地区	カワセミ等野鳥が見られる。
のぞみが丘地区	カモ、メジロ、ヒヨドリ、ウグイス等多数が生息している。
小郡地区	カラス。
立石地区	カモ、ハト、カッチョウ、ヒヨ、ツグミ、スズメ、メジロ。
御原地区	シロサギ。

◆景色が美しい

地図番号	理由
1	良い。
4	見る場所によっては最高の景色。
6	丘と池の風景がすてき。 見る場所によっては最高の景色。
7	落葉樹、常緑樹のコントラスト。
11	アメリカカブウが美しい。 公園としては良い。 落葉樹、常緑樹のコントラスト。
15	高台にあり見晴らしが良い。 桜の花の時期。紅葉時の古墳跡の上からの眺め。
32	早急な整備が必要。
33	早急な整備が必要。
51	景観（樹木）がよい。
54	遊歩道として公園化すれば緑が豊かで、散歩コースに最適である。
55	美しい。 遊歩道として公園化すれば緑が豊かで、散歩コースに最適である。
宝珠川	区全体が狭い道路。昔のままで美しいとは言えない。
稲吉	稲吉橋からあすてらす迄の堤防は片側だけ整備されているので、両側ともに道路を造って欲しい。
立石地区	花立山。
三国地区	ほぼ360度見渡せて気持ちが良い。

◆遊び場や散歩コースとして利用されている

地図番号	理由
1	散歩良し。
7	希みが丘小学校裏。遊歩道。 広場、歩道が整備されている。 夜は怖ろしくて歩けない。 遊歩道が整備されている。
8	希みが丘小学校裏。遊歩道。
9	希みが丘小学校裏。遊歩道。
10	希みが丘小学校裏。遊歩道。
11	ランニングにも利用しています。又、ゲートボールも見かけます。 希みが丘小学校裏。遊歩道。 広場、歩道が整備されている。 遊び場所等よく利用している。 遊歩道が整備されている。
14	自由に散歩ができます。
15	ウォーキングに便利（多少女性には不安）。 高木が多くうっそうと茂っている為、利用者が少ない。駐車場の整備が望まれる。
28	散歩コースになっている。
32	早急な整備が必要。
33	早急な整備が必要。
55	池の外回りコースは利用されている。
宝満川	近くに運動公園が整備されている。 河川敷は、現在草地であるが、ここをバーベキュー等が出来る様にして欲しい。 両側は、散歩の人が多い。川の両側共道路があり満足している。 犬の散歩コースとしては利用されている。 堤防の道が舗装され、散歩される方を多く見かける。
口無川	朝、昼、夕方と一日中散歩する人が多い。
三国地区	津古みくに野団地の裏山。

◆魚が多く、釣りができる

地図番号	理由
1	普通。
6	魚も大小見られるが、水が汚れている。
7	バス
8	バス、コイ釣りをするのを認めてほしい。 バス、ミドリガメ。柵の中に入って釣ってる人が多い。
9	バス、コイ釣りをするのを認めてほしい。
10	バス、コイ釣りをするのを認めてほしい。
11	バス 釣りはしたくない。
32	早急な整備が必要。
33	早急な整備が必要。
52	釣り人が、糸や釣り針を放置している。
53	魚は多いが釣り禁止になっている。 釣り人が、糸や釣り針を放置している。
54	魚は多いが釣り禁止になっている。 釣り人が、糸や釣り針を放置している。
55	たまに見うけられる。 魚は多いが釣り禁止になっている。 釣り人が、糸や釣り針を放置している。
稲吉	稲吉の宝満川よこ。ハヤ、カマツカ、コイ。 用水路で釣りができるので、周りを整備して欲しい。
宝満川	フナ、ブルーギル、ハヤ、コイ。釣り人は多い。
宝珠川	夏に釣りの姿をよく見ました。現在、定期的に緋鯉を放流している（年に一度）。

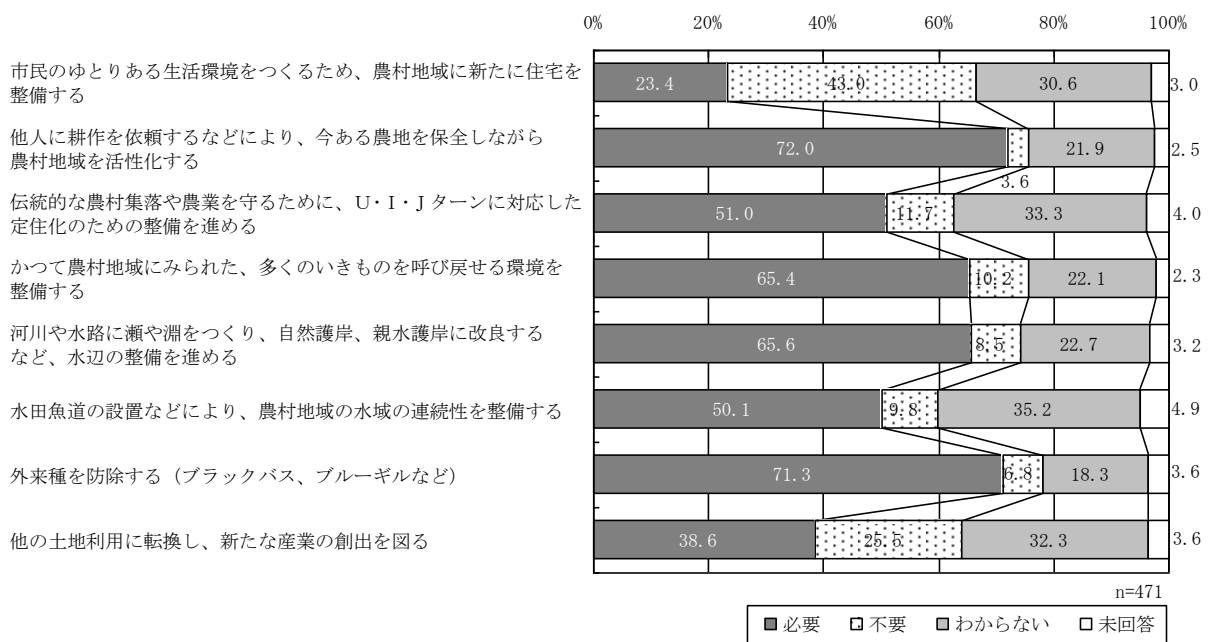
◆ホタルがいる

地図番号	理由
1	下流の水路を見た。
11	人の手が加わっていないので、生物が棲みやすそう。
宝珠川	津古付近に数匹。 最近では5~6匹見るだけ、昭和40年代はラジオ放送で紹介される程だった。 新津古橋付近。
稲吉	用水路にホタルがいる。 宝満川よこ。
大原地区	ホタルはいる。3カ所位。
立石地区	小郡市内では確認できない。

問 小郡市の今後の農村地域整備のあり方についてお聞かせください。各設問について、該当する欄に1つ○をつけてください。

農村地域整備のあり方について、必要と考えているものとして「他人に耕作を依頼するなどにより、今ある農地を保全しながら農村地域を活性化する(72.0%)」、「外来種を防除する(ブラックバス、ブルーギルなど)(71.3%)」が多くなっています。

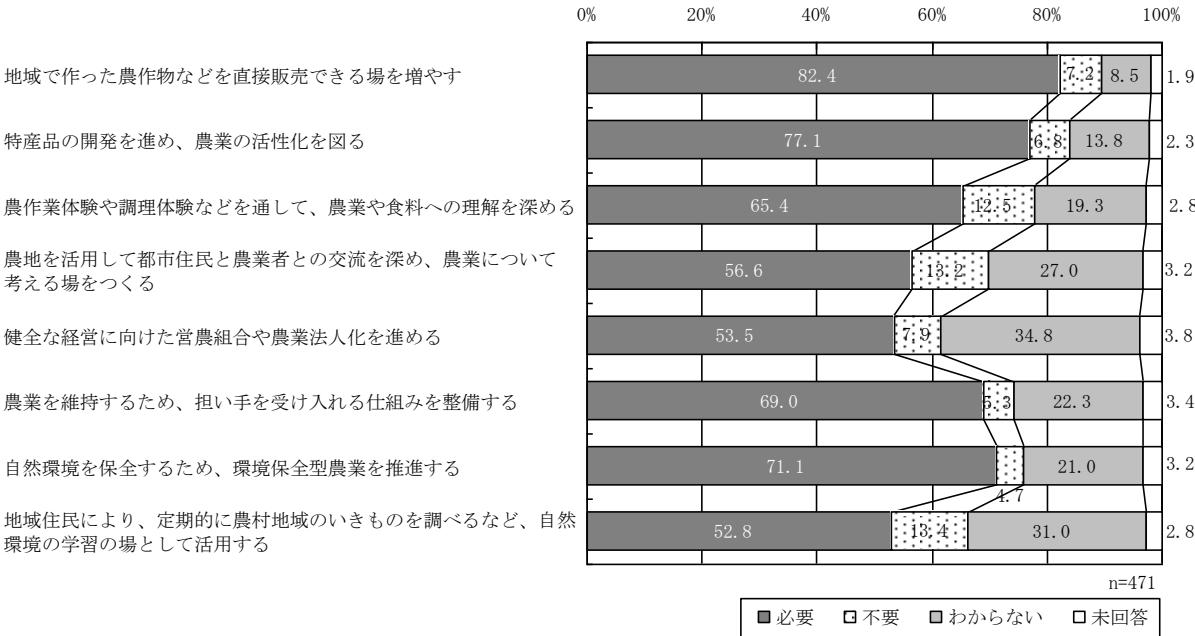
一方、不要と考えているものとして「市民のゆとりある生活環境をつくるため、農村地域に新たに住宅を整備する(43.0%)」、「他の土地利用に転換し、新たな産業の創出を図る(25.5%)」等、土地利用の目的がかわる項目について、他の項目と比較して割合が高くなっています。



問 小郡市の今後の農業のあり方についてお聞かせください。各設問について、該当する欄に1つ〇をつけてください。

今後の農業のあり方について、必要と考えているものとして「地域で作った農作物などを直接販売できる場を増やす(82.4%)」、「特産品の開発を進め、農業の活性化を図る(77.1%)」が多くなっています。

一方、不要と考えているものとして「地域住民により、定期的に農村地域のいきものを調べるなど、自然環境の学習の場として活用する(13.4%)」、「農地を活用して都市住民と農業者との交流を深め、農業について考える場をつくる(13.2%)」が、他の項目と比較して割合が高くなっています。

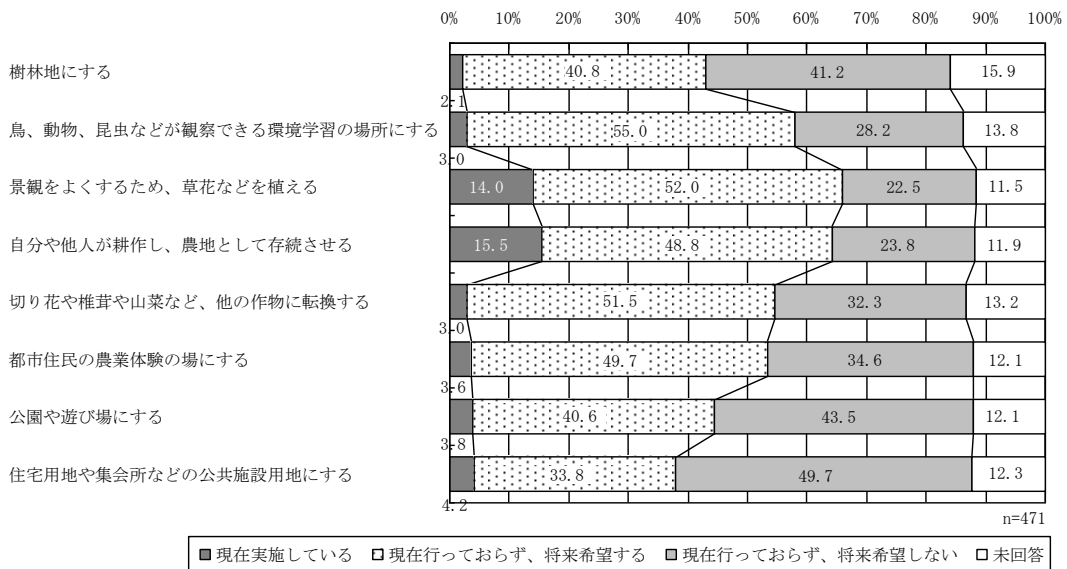


問 あなたの住まいの地域では、将来、耕作放棄地をどのようにすると良いと思いますか。各設問について、該当する欄に1つ○をつけてください。

耕作放棄地対策として現在実施されているものは、「自分や他人が耕作し、農地として存続させる(15.5%)」、「景観をよくするため、草花などを植える(14.0%)」が、他の項目と比較して割合が高くなっています。

現在は行われていないが将来希望するものとしては、「鳥、動物、昆虫などが観察できる環境学習の場所にする(55.0%)」、「景観をよくするため、草花などを植える(52.0%)」が、割合が高くなっています。

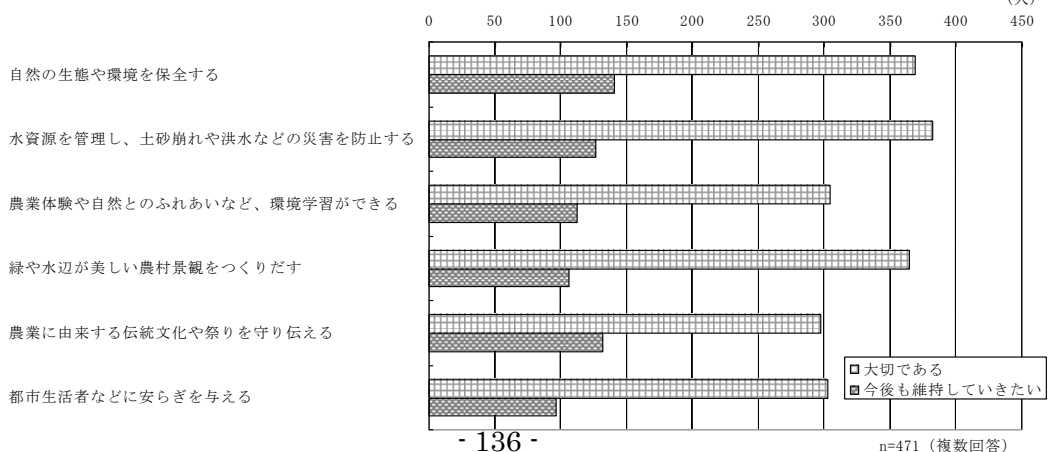
将来も希望しないものとしては「住宅用地や集会所などの公共施設用地にする(49.7%)」、「公園や遊び場にする(43.5%)」が、割合が高くなっています。



問 農業農村環境には、様々な機能があります。どのような機能が大切だと思いますか。また、今後も維持していきたいと思えますか。各設問について、該当する欄に○をつけてください（○はいくつでも可）。

農業農村環境が有するそれぞれの機能については、いずれも「大切である」と回答する割合は高くなっています。

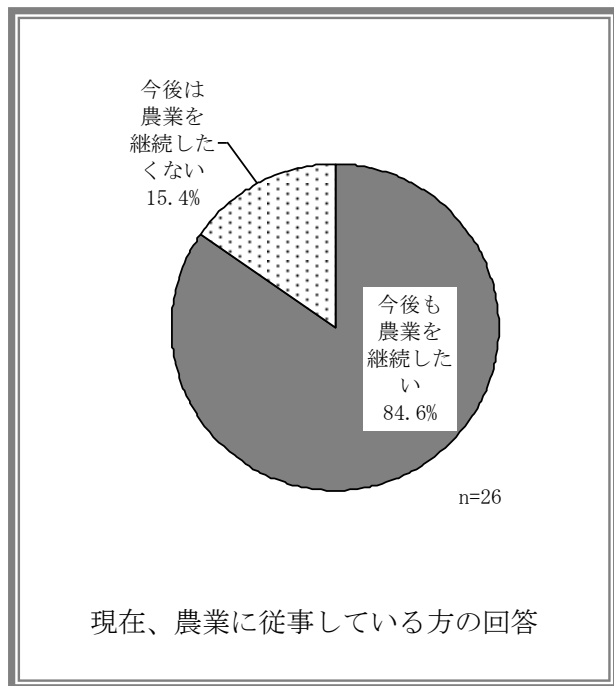
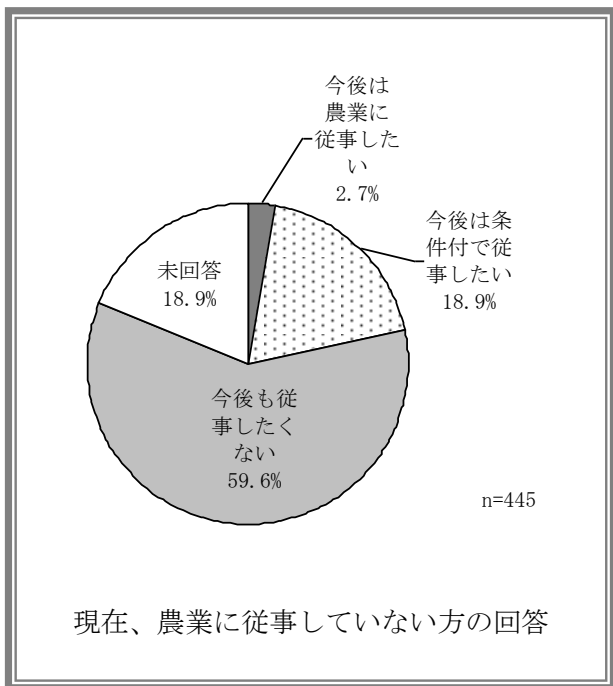
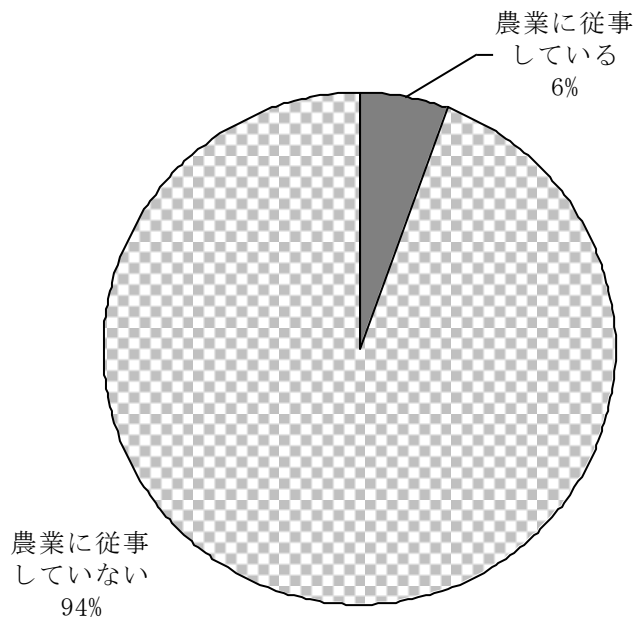
一方、「今後も維持していきたい」と回答する割合は、どの機能についても低くなっています。



問 あなたは農業に従事していますか。今後は継続あるいは従事したいですか。

農業の継続はしたくないと回答しています。

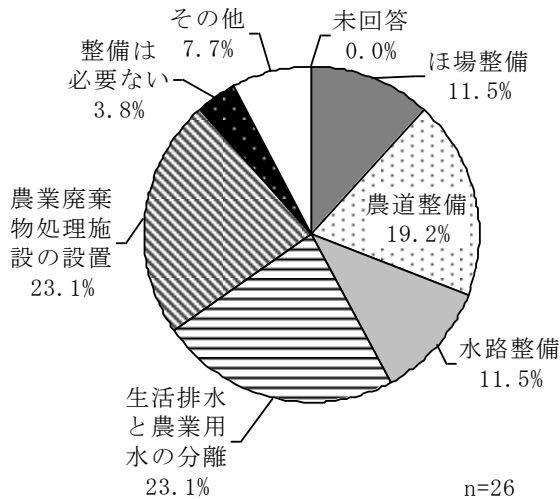
一方、現在農業に従事していない方は、21.6%の方が、何らかのかたちで農業に従事したいと考えています。



問 あなたの農地ではどのような整備を希望しますか。該当する番号に○をつけてください (○は1つだけ)。

《現在、農業に従事している方のみお答えください。》

希望する農地整備の内容について、多い順に、「生活排水と農業用水の分離(23.1%)」、「農業廃棄物処理施設の設置(23.1%)」、「農道整備(19.2%)」となっています。

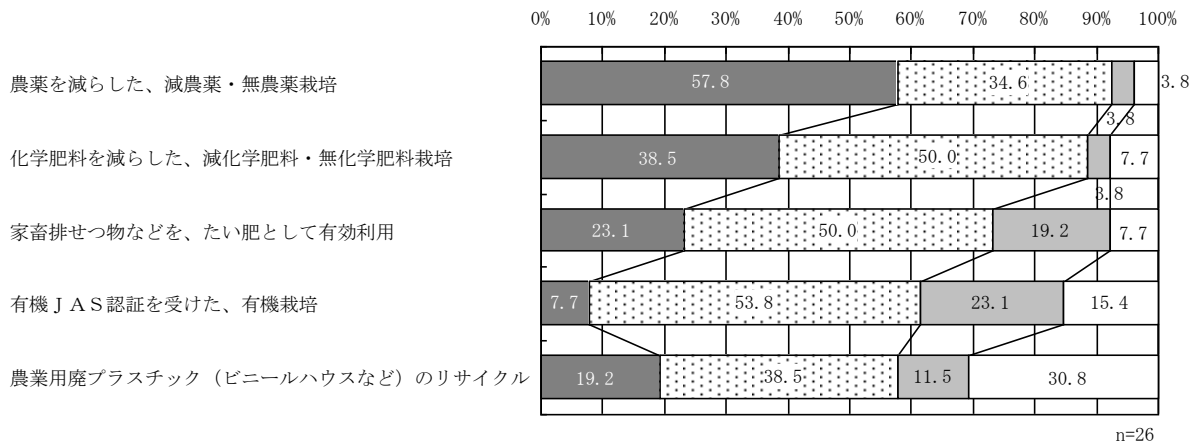


問 あなたの農地では環境保全型農業を行なっていますか。また将来行いたいですか。各設問について、該当する欄に1つ○をつけてください。

《現在、農業に従事している方のみお答えください。》

環境保全型農業について、現在行っているものとして「農薬を減らした、減農薬・無農薬栽培(57.8%)」、「化学肥料を減らした、減化学肥料・無化学肥料栽培(38.5%)」が多くなっています。

現在は行っていないが将来行いたいものとして「有機JAS認証を受けた、有機栽培(53.8%)」、「化学肥料を減らした、減化学肥料・無化学肥料栽培(50.0%)」、「家畜排せつ物などを、たい肥として有効利用(50.0%)」が、他の項目と比較して割合が高くなっています。



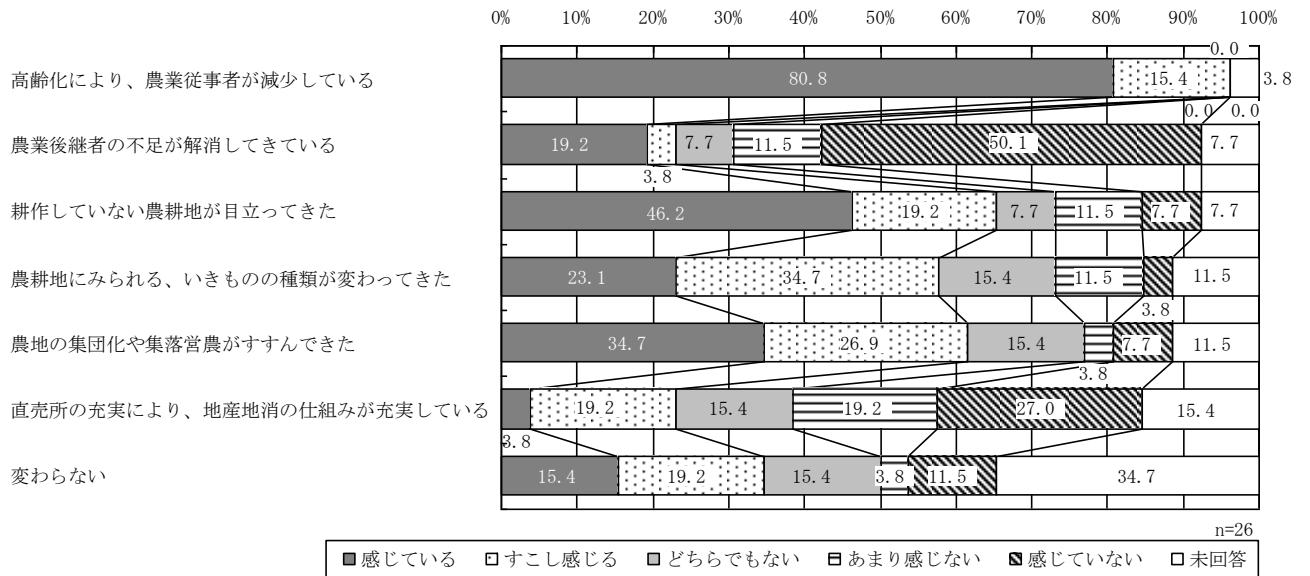
■ 現在行っている □ 現在行っておらず、将来行いたい ■ 現在行っておらず、将来も行いたくない □ 未回答

問 小郡市の農業農村環境は、ここ10年間位でどのように変わってきていると感じていますか。各設問について、該当する欄に1つ○をつけてください。

《現在、農業に従事している方のみお答えください。》

ここ10年位の、農業をとりまく状況の変化として、高齢化の進行、耕作放棄地の増加、生き物の種類の変化を感じている割合が多いようです。営農に関しては、農地の集団化や集落営農がすすんできたことも、感じている方は比較的多いようです。

一方、直売所など地産地消の仕組みづくりや、後継者不足の解消については、10年前から変わっていないと感じる方が多くなっています。



4. 座談会意見

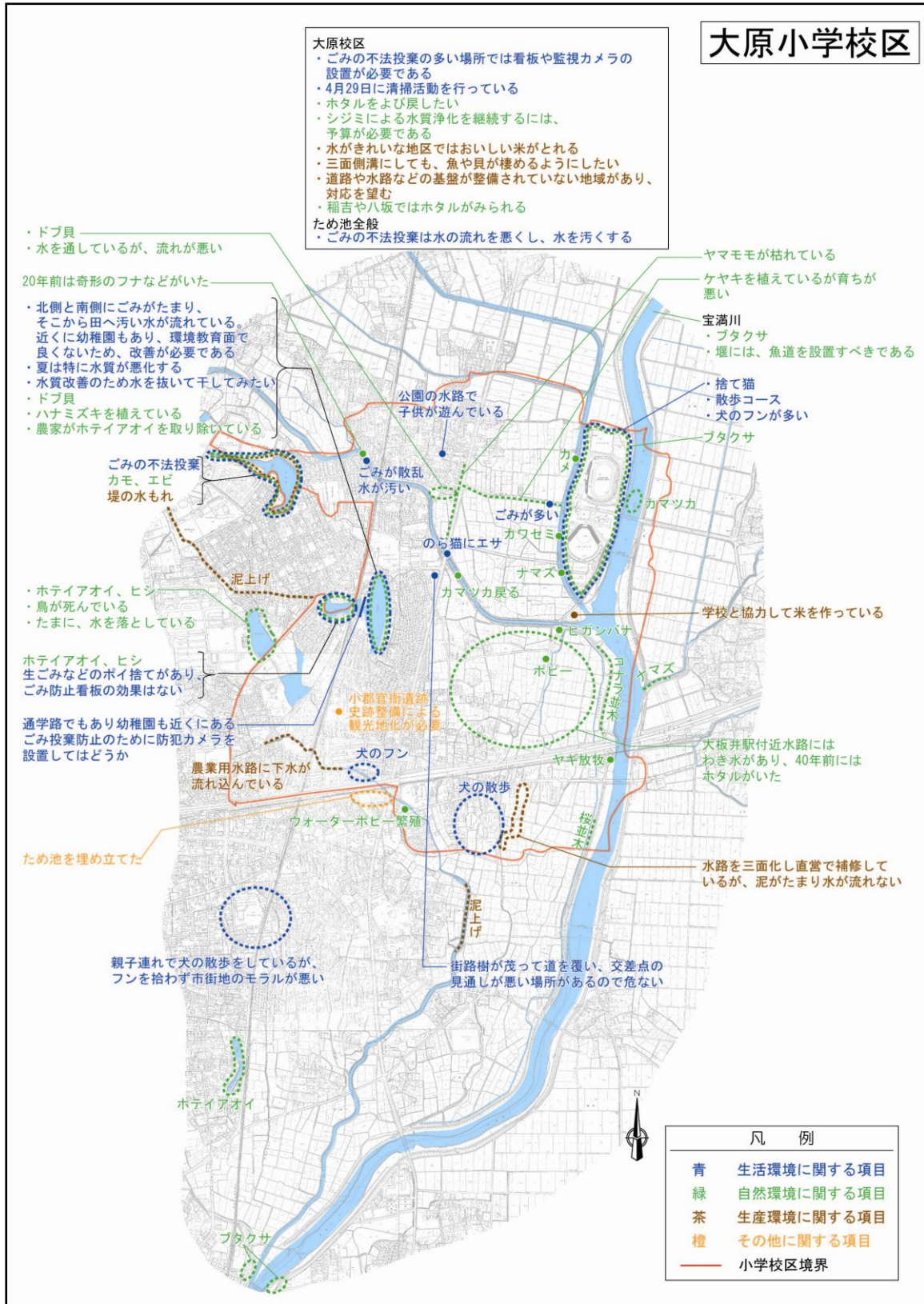


図 座談会意見 (大原小学校区)

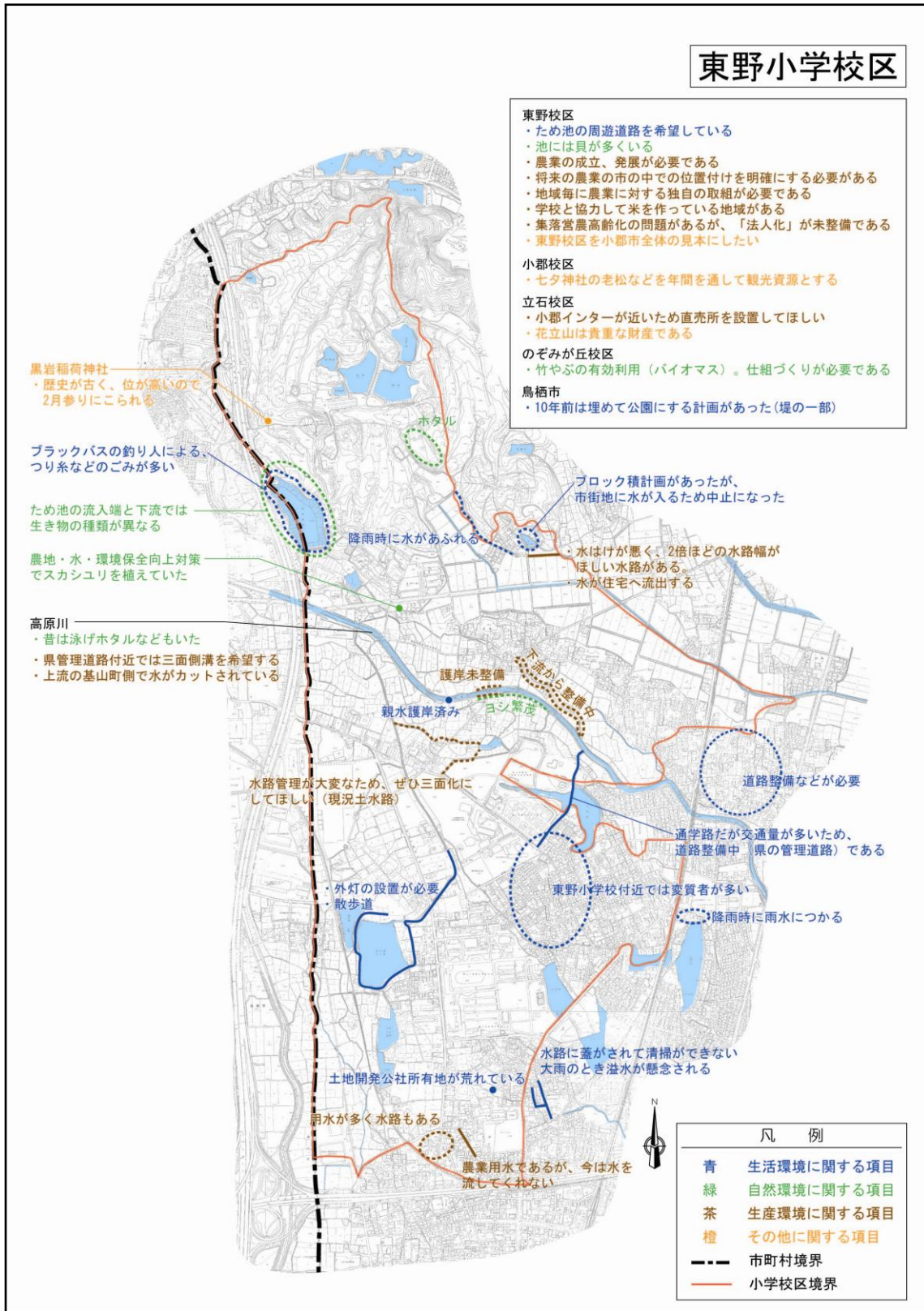
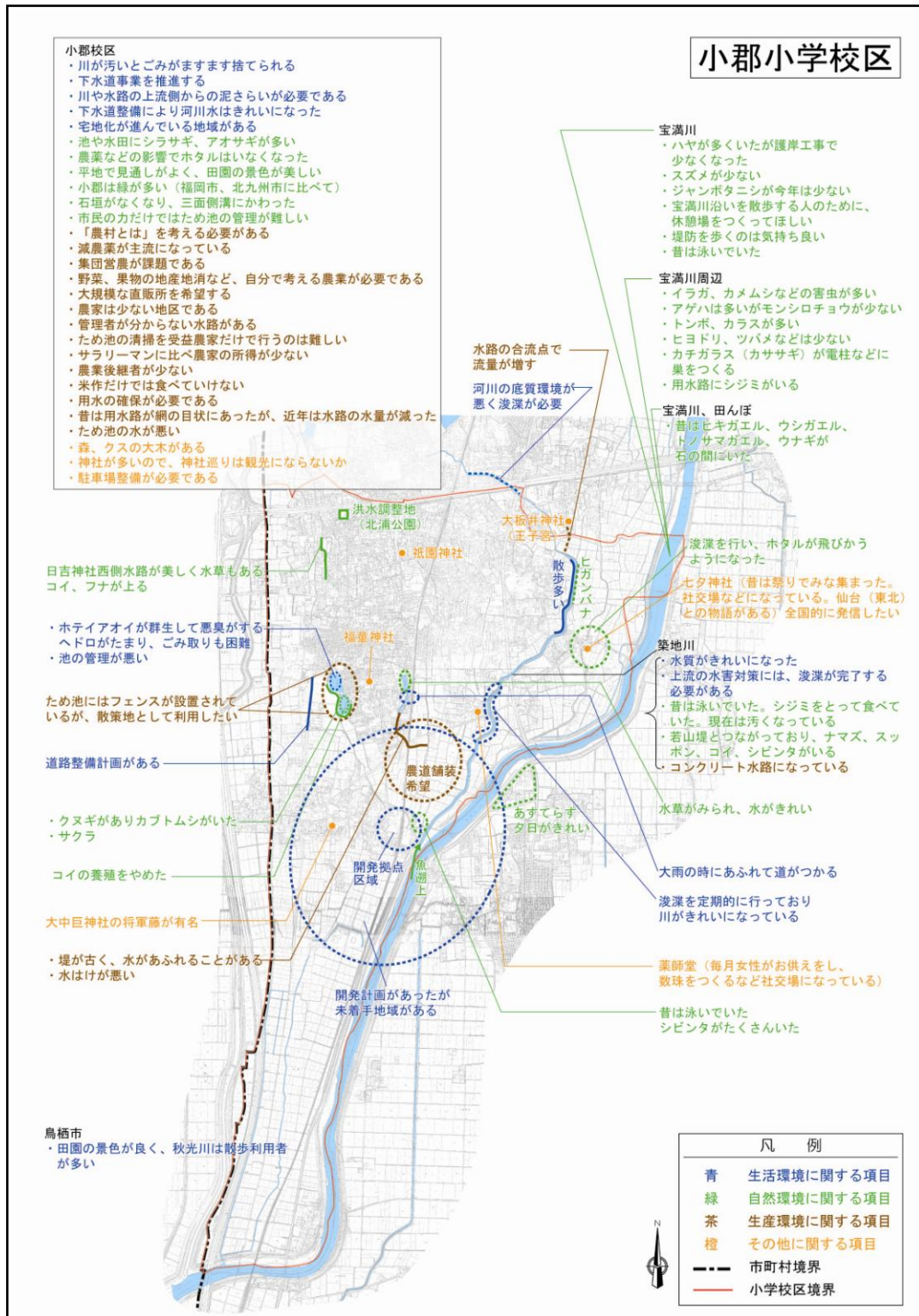


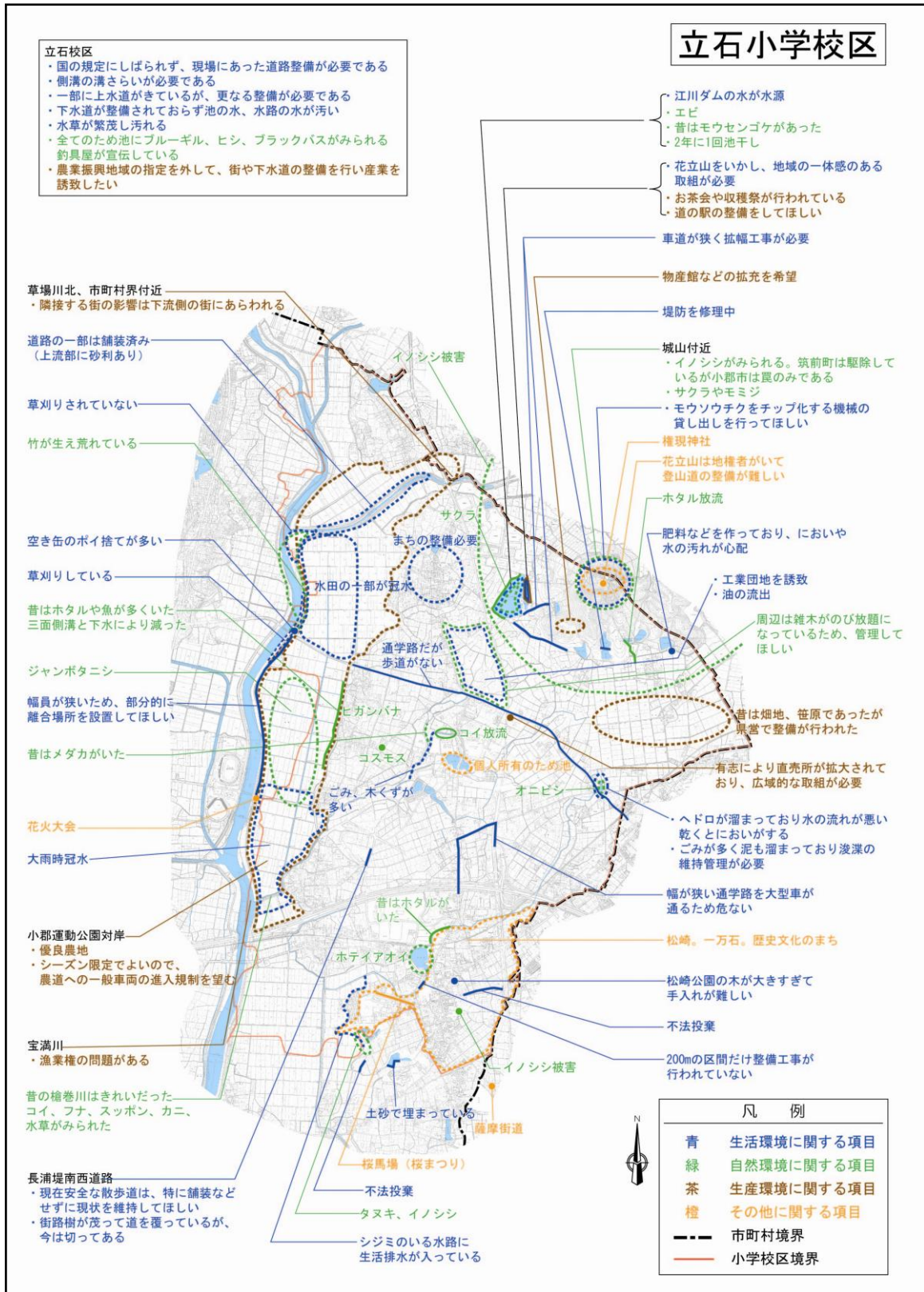
図 座談会意見東野小学校区)



座談会意見 (小郡小学校区)



図 座談会意見（三国中学校区）



座談会意見（立石小学校区）

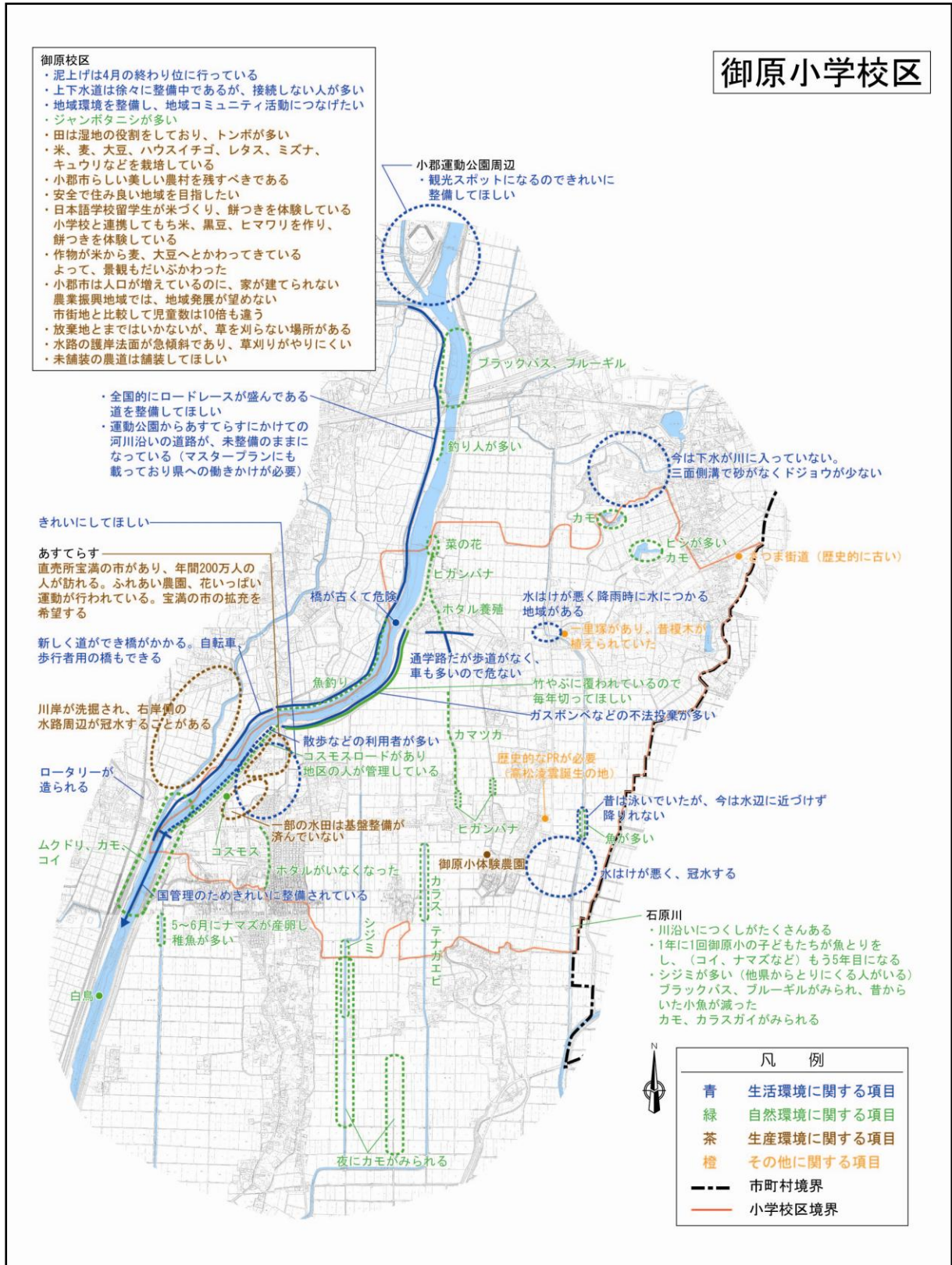


図 座談会意見（御原小学校区）

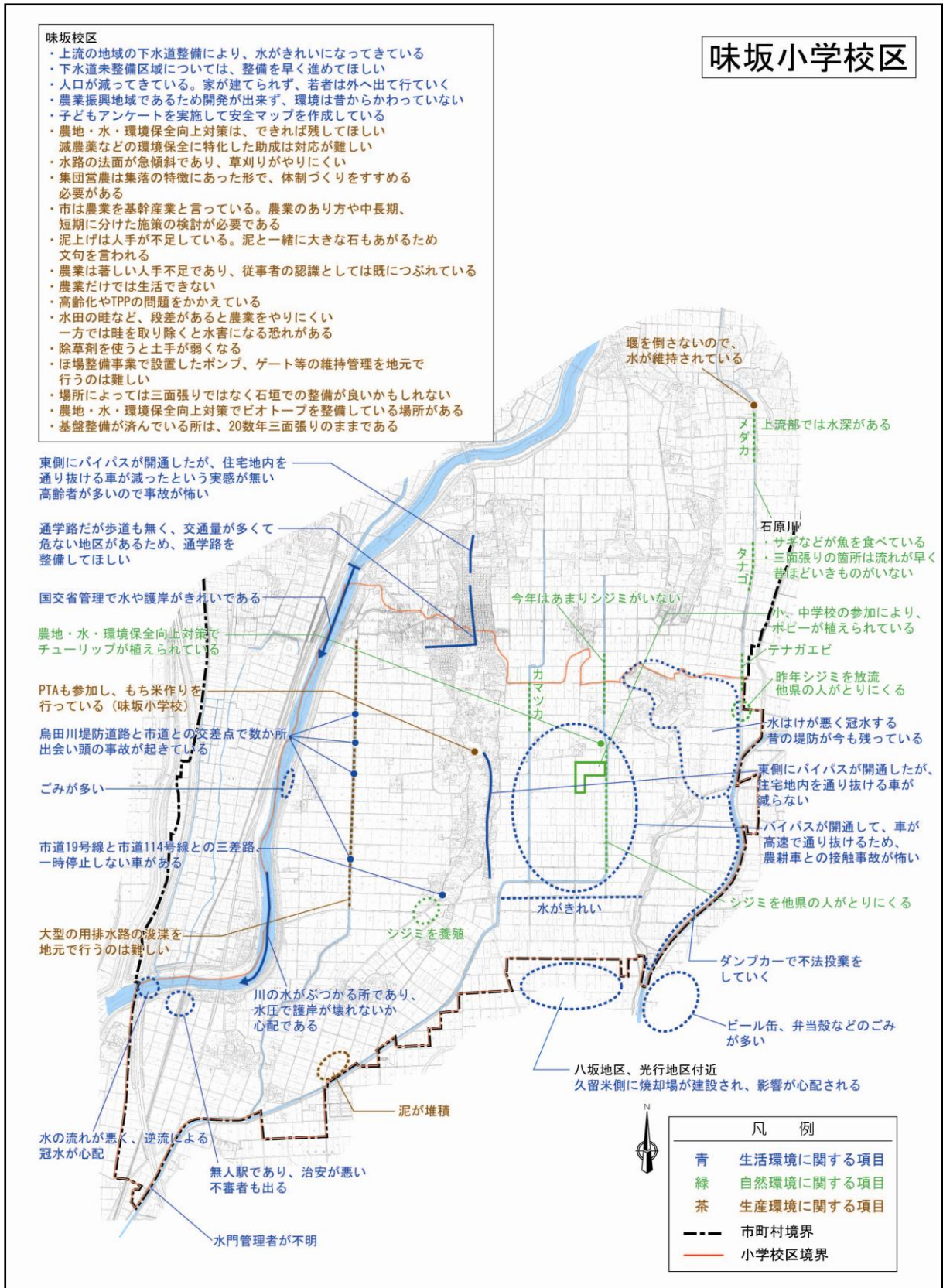


図 座談会意見（味坂小学校区）

5. 保全上留意すべき事項（補足）

◆望ましくない工法

必要な場合もあるが、生息地としては質が低く、施工規模を制御、形状を調整・縮小して用いる必要があるものを以下に整理します。

（水路・護岸形状）



ブロックマットは、従来の複断面に比べ、泥底の平坦な浅場が皆無となり、底生魚が生息できなくなる。また泥底に比べ、バクテリアの全体量も著しく少ないとみられ、水質が悪化しやすい可能性がある。さらに、本護岸では生物の依存環境として重要なヨシが生育しないことは重大な欠点となる。モニタリングにおいては、魚類捕獲で最も効果的な投網が使用できないなども欠点となる。



ブロックマット張り。指標性の低い路傍雑草、準湿性植物などが生えるが、生息環境としての保全はほとんど望めない。クサネム、ホウキギクなどが主となり、根茎が地中を這い、土手を守り、生物の生息環境となるヨシは生育しにくい。



止水域での護岸工。土羽の状態より、水質が悪化しやすいブロック積み。浅場がなく、一様に深い水路。生物相は単純になる。

日本の沖積平野には、本来深く緩い流れがある水域は少なく、これに適応した種は外来種や琵琶湖産の種となる。幹線用水路では構造上の要求からこうした構造となる場合があるが、環境の代償を考える場合、公園的な構造物ではなく、伝統的な農村環境をイメージするのが望ましい。



(左) 稀に農家の要望により畦をコンクリート化してしまう箇所があるが、保全上、景観上、原則としておこなうべきではない。草地は、雨水の流入時の干渉地など、多面的な機能（水路への流入速度、ろ過作用、浸透・涵養機能、生物の生息環境等）を持っていることに留意すべきである。

(右) コンクリートの畦は、水田雑草の多様性保全上、また鳥類の生息環境保全上推奨はされない。畦の土中はミミズ、ゲンゴロウ類（蛹、越冬群）など土壌中の動物も多く、生物資源バンクとなっていること、ヒクイナ、タマシギなど早成性の鳥類の雛（生まれた直後から親鳥の後を付いて歩く水鳥）の移動障害となるなどが理由となる。作業従事者の高齢化など管理上の要請からなされることがあるが、特に多様性中核地では配慮が求められ、コンクリートとする場合も形状の修正が望ましい。

（農業施行 営農者の要望との調整に必要な知識）



(左) ホテイアオイに対してなされた除草剤散布であり、好ましくない。水路側には散布しない。

(右) 除草剤により裸地となり、好ましくない。水路側にはヨシが生えるよう散布を控えると、土手の崩れを防止できる。

（水路の改修）

現行の水路改修による多様性の縮小を、同系統の水路の改変によって示す（右）。いずれも、生息環境の多様性が大幅に縮小していることがみてとれる。農業効率と保全は、方法次第で両立できる。



緩やかな排水路の上下流。生息環境としての質の差は歴然としている。改修後の右には、移行部に生じる抽水植物による浄化機能、植生カバーなどが無い。



橋を挟んだ上下流。上流側（左）には抽水植物がみられ、メダカが生息している。



止水部。複断面の泥底の浅場がある左の環境と、右の護岸では浄化能力、底生動物の生息状況が異なる。集落周辺でブロック積みを用いる場合は、多用しすぎないことが重要である。

◆取り入れたい伝統的な護岸形状



杭柵（木柵）



コンクリート柵（過度に水面から高くしない）